

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	そば文化による信州千曲「さらしなの里」魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	信州千曲「さらしなの里」そば祭り実行委員会 千曲市上山田温泉 4-15-1 千曲市観光課内 026-275-1753
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,326,927 円 (うち支援金：4,440,000 円)

事業内容

観光誘客・宿泊促進対策として、そばを食べに千曲市に来てもらう。その核となる「さらしなの里そば祭り」と「さらしなの里そばミーティング」を実施し受入体制を確立、市民を中心とした「さらしな」「そば」に焦点を当てた事業の継続を図る。

- ・「さらしなの里そば祭り」(そばブース出店)
11月5日 千曲市 白鳥園南イベント広場
来場者数 4,000 人 売上額 1,951,200 円
- ・「さらしなの里そば祭り」(そば文化の講演・実演会)
11月5日 ホテル圓山荘 参加 72 名
- ・そば消費キャンペーン
10月1日～11月4日 市内そば店来訪者約 8,000 人
- ・銀座 NAGANO での PR イベント
7月2日 70 名参加
- ・「さらしなの里そばミーティング」



【 そばまつりの様子 】

【目標・ねらい】

- ①観光誘客・宿泊促進対策
- ②千曲市の新たな魅力創造
- ③魅力発信による認知拡大

事業効果

- ①そばまつり(そばブース出店)では、同時開催の千曲川マルシェの昨年来場者数より 30%増である約 4,000 人の来場者数があり、うち半数は市外からの来訪者との結果が得られた。
- ②そば文化の講演・実演会では市内外から多数の参加者があり、千曲市が「さらしなの里」であることを PR する音楽や文学に関連した講演、そば名人による実演等を行い、高い評価が得られた。
- ③銀座 NAGANO で PR を行い、来場者から非常に高い評価が得られただけでなく、これを契機に千曲市の特産品について知りたいとの声や、訪問希望が多数寄せられた。

今後の取り組み

今回の反省を踏まえ、全体の知名度の向上を目指すべく情報発信を強化するとともに、銀座 NAGANO で好評であった PR 活動をより積極的に活用し首都圏での誘客を強化する。また、そばまつりの各イベントでの誘客を強化するため、各イベント同士を連携させながら、地域一体となり観光客を受け入れるための環境や意識作りを行うとともに、千曲市を周遊する仕組みを作り出すことにより、実際に千曲市を見てもらい知っていただくとともに、さらしなブランドを活用した特色ある観光地づくりを地域一体となって推進する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・そばまつりでの来場者数が当初目標(5,000 人)を下回る結果になったが、売上は当初目標の 2.5 倍の売上げとなった。
- ・宿泊推進対策が不十分であり、目標金額を下回る結果となった。
- ・市外在住者への浸透が不十分であり、知名度不足である。
- ・そばキャンペーンでは目標(1,800 人)を超える利用者があった。